

委員会提出議案第2号

桶本大輔前議長の功績を評価する決議

桶本大輔前議長は、平成27年5月臨時会において就任して以来、中立かつ公平な立場で、民主的な議会運営を行ってきた。

議会改革に関しても、特に議会のICT化に積極的に取り組み、今定例会から「議会資料検索システム」を導入するとともに、本会議及び委員会におけるパソコン等の情報通信機器の持込みと使用を可能にするなど、議会のペーパーレス化に向けた礎を築いた。

また、全国20の政令指定都市を代表する全国市議会議長会指定都市協議会の会長として、多様な大都市制度の創設や災害発生時における指定都市相互の緊密な連携等に係る議論をリードするほか、国政とのパイプ役を果たすなど、本市議会の代表として重要な職責を全うした。

よって、さいたま市議会は、桶本大輔前議長の功績を評価するものである。

以上、決議する。

平成29年7月10日提出

さいたま市議会議会運営委員会

委員長 阪本克己